

どんどこ通信

◎どんどこ通信は、おおつき和弘後援会会員向け情報紙です。 2010.6

発行
Vol.
8

相模原市議会議員
おおつき和弘後援会
www.dondoko.st/
252-0317 相模原市南区御園5-5-20
TEL@042-745-5004 FAX@042-860-6040 事務連絡



相模原市議会議員 おおつき和弘 **どんどこまつり** **第3回 7/4(日)開催。**

「あったかいまち」つくりたいね！の心でつながる。

日時
場所

2010年7月4日(日)
午前11時～午後2時
麻溝台自治会館・広場
☎748-2894

雨天
決行



好きです
新相模原

会費

男性/1000円 女性/500円 子供/100円

(会費は、会場でお支払い下さい。)

どなたでもご参加いただけます。

「おおつき和弘後援会」では、今年も誠実に積極的に活動している大槻和弘市議を囲んで、第3回「おおつき和弘どんどこまつり」を企画致しました。皆様お誘い合わせの上ご参加下さい。



会場案内図

内容

イベント

やきそば・やきとり・とん汁
ソーセージなど
アルコールの準備もあります。
★楽しいイベント盛りだくさん。
フラダンス・手品・当てクジなど

●お願い

アルコールの準備がございますので、お車でのご来場はご遠慮下さい。

★ご注意

飲酒された方は、自動車・自転車等の運転が道路交通法で禁止されておりますので、予めご承知おき下さい。

相模原市議会議員 おおつき和弘後援会

活動内容はブログで！ www.dondoko.st/

252-0317 相模原市南区御園5-5-20

TEL@042-745-5004 FAX@042-860-6040

どんどこきずく
「新相模原」



無所属

南区誕生! 区長ってどんな人?

南区の区長、野村謙一さんにお話を伺いました。

Q: 南区のご感想は?

A: 南区は人口27万人で、小田急線沿線と横浜線の古淵という都市部と相模川の田園風景をもつていて、麻溝や新磯など自然に恵まれた地域の両方の魅力を持っている区だと感じています。

Q: 新しい区組織のスタートでご苦労は?

A: まだ始まって1ヶ月ですから、大きな課題が出たということはありませんが、私を含めた区役所地域政策課と各まちづくりセンターの地域政策担当にはやるべき仕事がたくさんあるというのが実感です。

Q: 政令指定都市移行、区役所ができた効果は?

A: 市民に身近なサービスでは交通安全や防犯・防災の事務が本庁から各区に下りました。また、国保や年金などの行政手続のサービスも一部区役所で出来るようになりました。さらに児童虐待が市内でも去年1年間で最高の相談件数という状況の中で、子どもに関する総合的な相談支援機能を持つ「こども家庭相談課」を配置しました。障害や介護等の相談窓口も各区に設けています。日常的な市民サービスについては、区役所及び南保健福祉センターの中で完結出来ると思います。

Q: 市民協働による新たなまちづくりのために、まちづくり会議をどのように活用するのですか?

A: 7つの地区でまちづくり会議が設立されます。まちづくり会議や区民会議は、いろいろな立場の方が参加して、同じテーブルの上で同じ話題に賛否両論ある中でも話し合う、正にそういう活用が一番の目的だと思っています。

Q: 区のシンボルマークやシンボルカラーは?

A: 出来るだけ早い時期に決めて行きましょうと、3月の本会議で大槻さんの会派の質問に対し市長が答弁しましたので、多分区民会議の中で区のビジョンづくりと合わせて講論を進めて行くことになると思います。

Q: 因みにおおつき和弘後援会のシンボルカラーはオレンジですが、ご存知でしたか?

A: 承知していますよ。



インタビューの様子
左奥から
坂井後援会長、
事務局 三木さん、
事務局 優さん。
写真/大槻

野村 謙一 南区長

Q: 区長のプロフィールは?

A: 昭和35年、5歳の時に都内から相模原に転入してきました。相模台小・相模台中(大槻議員と同期生)と小田急相模原で育ちましたので南区は肌でわかります。大学を出て民間の企業に約2年半勤めました。技術系の会社でした。本来はマスコミ志望でしたが非常に門戸が狭く、その後市役所に転職しました。相模大野の再開発を約12年間担当し、大変勉強になりました。

Q: お住まいはどちらですか?

A: 現在は相模大野5丁目です。

Q: 区長に任期はありますか?

A: 東京の特別区のように公選の職ではありませんから基本的には一般の人事異動の中で任命されます。任期は市長の判断です。

Q: ご趣味は?

A: 趣味を聞かれると困るんですが、今は映画を観たり、美術館へ行ったりが一番ですね。

Q: 学生の頃は部活動とかやっていましたか。

A: 小・中・高・大学でサッカーをやっていました。市役所でもやっていました。

本日はご多忙中のところ、ありがとうございました。

「どんど春のつどい」開催

後援会の一層結束と
会員の親睦に向けて

おおつき和弘後援会では、会員の親睦と連携強化を目的に「おおつき和弘 どんど春のつどい」を企画し、3月21日(日)に、小田急相模原のラクアルおださが4階のおださがプラザを会場に午後7時より開催致しました。

日曜の夜、また3連休の中日もあり、ご参加の皆様のご都合も心配ましたが、約300名の皆様のご参加をいただき、盛大に開催することができました。

また、来賓として公務多忙の中を加山俊夫市長に起こしていただき、ご挨拶いただきました。松沢成文神奈川県知事、岸浪孝志相模原市議会議長、市議会創史会の議員各位、国会議員の先生などから激励の祝電も多数いただき、ご披露させていただきました。

おおつき議員の挨拶では、本市が政令指定都市へ移行するメリットを最大限生かす為に、行政の一層の努力に加えて、市民の皆様が役割を自覚し、市政に参加していくこと

が大切で、議員として支えていくこと。さらに議会・議員が意識改革をし市民のプラスになる政策を立案し、議案提出への因る取り組みが必要。現在、議員の所属する創史会では、その準備を進めていると語り、2期目への意欲の表明もありました。

後援会の行事としては、今回の春のつどいのような新年会を開催するのが初めてだったことから、事前の準備など手探りの状態でしたが、ご参加の皆様に楽しんでいただることを目標に準備を致しました。春らしく桜の花を鏡めたステージ飾り、琴の演奏やフラメンコの披露などで趣向を凝らした内容と致しました。

和やかな中で会は進行し、参加者の中からは、おおつき議員への激励のことばが多く聽かれ、また、会員の皆様が楽しく会話されている様子からも、今回の春のつどい開催の当初の目的が達成されたものと確認できました。

政令指定都市移行記念クリーン大作戦に参加。

まちの危険個所の把握と、美化推進を目的に防犯パトロールを続けています。大槻議員と共に、毎月1回2時間程度ゴミの収集。

3月のパトロールを17日に実施。この日は相模原市商店街地域貢献活動推進協議会のみなさんが、「第4回さがみはらクリーン大作戦」を政令指定都市相模原誕生記念として開催するとのことで、私たち7名も国立病院通り（サウサンロード）と小田急相模原駅周辺を中心に活動しました。早朝8時ごろスタート。商店街のみなさんも既に活動中、毎回オレンジカラーのジャンバーで活動する私たちに、「やっぱりユニフォームも揃えたほうがいいね。」と感想を述べられました。

パトロールで気になるのが煙草の吸殻と菓子袋のポイ捨て。この日も駅周辺のベンチや植え込みの中などにたくさん発見。皆さんの協力できれいになりましたが、

人ひとりのマナーが大切だと痛感しました。防犯パトロールグループは、どなたでも参加できますのでご連絡下さい。

お問合せ 042-745-5004



御園サウサンロード、小田急相模原駅まで、地域のクリーン作戦に協力。小田急相模原「ラクアルオダセガ」前に撮影。いつもながらゴミの収穫も上々。

「どんどこツアーア」バス旅行

「どんどこ会」は後援会女性の有志活動です。

お茶会や料理講習会を不定期ですが開催しています。

今回は2月17日(水)おおつき和弘後援会主催の「どんどこ行こう！女性限定バス旅行」の企画となりました。

当日は、この日のために作成した歌集の中のひとつ「早春賦」の一節、♪春は名のみの風の～の通り寒い一日でしたが、参加頂いた46名の皆様の熱気で楽しい一日となりました。

いちご狩りでは、腰高に栽培されたいちごを味わい、花摘みで持ち帰ったボニーの蕾も自宅で花開き、春を感じることができました。バスの中では、即興で、♪もしもしカメよカメさんよ～（ウサギと亀）と、♪むかしむかし浦島は～（浦島太郎）を交互に唄い輪唱を完成させたり、歌集の童謡を唄ったりで、東の間ながら子どもの昔に戻りました。



どんどこ会

後援会員女性グループの親睦活動

今回の旅の記念に、寒かった高津岬展望台をバックに集合写真を撮り、海産物のお土産をたくさん買い込み帰途につきました。



お国自慢！

相模原市山形県人会

おおつき和弘

わたくし大槻和弘は、昭和30年に山形県酒田市で生まれました。母も鳥海山のふもとで生まれ育ち、親戚知人も山形には多くあります。相模原でたくさんの方とお知り合いになる中で、縁をいただいて相模原市山形県人会とのお付き合いが始まりました。感謝しております。

役員のお話によると、山形県人会は、昭和55年に6名の山形県出身者の雑談の中から、県人会結成に至ったそうです。故郷と同じくすると言うだけで心打ち解けることができるものだと私も実感しておりますし、当時の発起人の方々の熱い思いも容易に想像ができるものもあります。そして今年は、結成30周年を迎えます。

現会長の佐藤健司さんは、昭和62年から現職を務め、たくさんの役員の皆様も長く会の運営に貢献されております。熱心な活動には常々感心させられています。

年間行事の主なものは、春の「市民桜まつり」への美味しい名物「玉こんにゃく」の模擬店出店、市民パレードへの「花笠踊りパレード」参加。秋は、相模川河畔での「芋煮会」。新年会（総会）も、たくさんの参加者で盛り上がります。30周年を迎える今後も世代を超えた会員の親睦を基調に、一層のご発展を祈念致します。



4月4日(日)に行われた市民桜まつり。山形県人会は、今年も「花笠踊りパレード」に参加しました。満開の桜の下で子ども達も練習の成果を発揮しました。



山車の前で、役員の皆様と記念撮影。
（左から佐藤会長、大槻議員、木崎翁市議）



①ほっとけない!

大規模地震発生! ブロック塀が倒壊したら…

度食が進み、倒壊の危険が考えられる防犯灯も改修した。

②③平成21年6月
議会での一般質問
から抜粋。



②救急車は来たけど なぜ出発しないの?

- (1) 救急車の適正利用に向けた対策について
平成20年中に搬送された26,222人の内53.7%が軽傷者であり、中には救急車の正しくない利用を考えるものも含まれていると考える。救急車の適正な利用に向けた積極的な啓発活動が必要だ。現場での搬送トリアージなどの具体的な抑制策を市長は考えるべきだ。
- (2) 市民にとって不安のない救急体制の充実のために、救急電話相談体制の充実が必要だ。相模原救急医療情報センターの機能の充実や、救急安心センターなどの新たな体制の整備を行うべきだ。
- (3) 救急搬送の時間短縮に向けては、現場の救急隊員の活動時間の短縮と共に、受入医療機関の照会作業の効率化が必用である。実効性ある病院照会サポートシステムの構築を考えるべきだ。
- (4) 今後の救急医療の需要を見据えた救急医療体制の充実に市はどう応えるのか。



札幌市では、報道機関と連携し施策の市民周知を図っている。視察当日も道外からの視察と言うことで、札幌テレビの取材があった。

具電幌に出产市電話相談体制を確立する妊婦のたらい回しや、電話を視察。助産師による立産無受診など救急札急診状況や、課題によった教

③お年寄りにもやさしい バス利用環境の整備

- (1) 駅周辺やバスステーションのバリアフリー化が進む中で、その端緒となるバス停の改良は高齢化の進歩という側面からも早急な改善が求められる。バス利用者の利便性の向上と乗降時間の短縮のため、乗降方式の統一やバリアフリー化を含めたバス停改修を計画的に進めるべきだ。
- (2) バス停の上屋やベンチなどバス待ち環境の整備は公共交通を利用する市民への必要なサービスだ。新たな利用促進にもつながる重要なものと考える。
- (3) 既存バス路線の今後の見通しに対する計画は。

「バス停が怖い」を改善。



深堀バス停（東林間）
バス乗降時の歩道沿石の段差がお年寄りには危険。
車椅子利用の方は、乗降できない。そこで、段差の切り下げ工事により、安全性を確保。

バリアフリー化のため整備する必要があるバス停は、市内全域で215箇所。病院、福祉施設、公共施設に隣接するバス停から整備。平成24年度までに完了する予定。

